

■ 性能試験

PERFORMANCE TEST

■ 測定方法

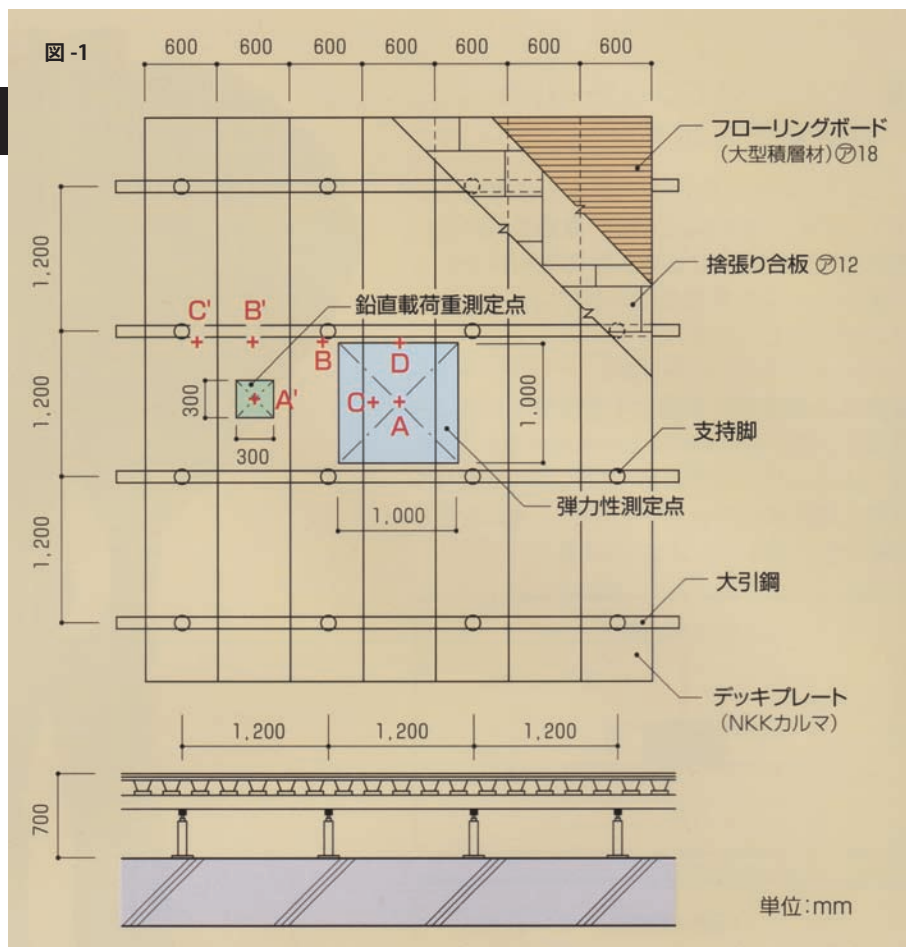
JIS A 6519 体育館用鋼製床下地
構成材試験方法

■ 測定者

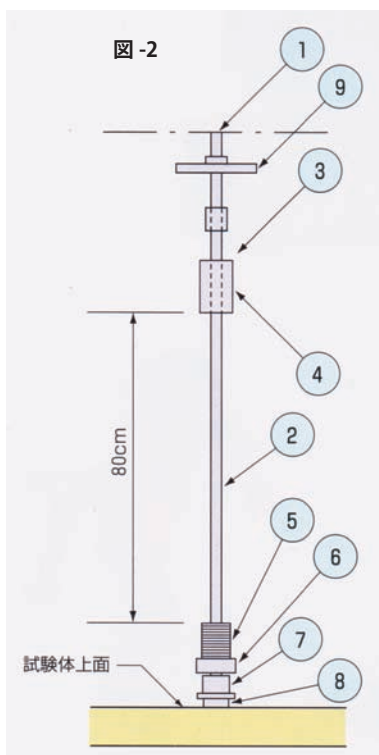
東京工業大学建築学科小野研究室
(株) 染野製作所 試験室

■ 試験体

図-1 の試験体



■ 床の弾力性測定装置



質量 5Kg のおもりを 80cm の高さから自由落下させ、試験体上部のゴムパネを介して、人間がジャンプし着地したときと同じ荷重を与えて、その時の人間の持っているエネルギーを吸収する「緩衝作用」と運動動作時に適度のはずみを与える「反発作用」および「振動の減衰作用」の3つの要素を複合し、その時の動的変形状を測定する装置(図-2)により行います。

測定点は、図-1の中央 ABCD 各点

番号	名称
1	変位測定位置
2	重錘誘導管 (直径27mm)
3	電磁石
4	おもり (5Kg)
5	ゴムパネ (外径80mm、 内径30mm、 厚さ100mm ショアA硬度10)
6	受け板 (直径100mm)
7	荷重変換器
8	荷重板 (直径50mm)
9	支持板

図-3 弾力性の評価値と物理量の関係

